

～ 企業価値を左右する財務報告リスクへの対応 ～ 事例に学ぶ! 「会計上の見積り」 監査の実践

日時 2019年7月31日(水) 13:00～17:00(4H)

会場 東京・代々木・本会内セミナー室 (右図参照)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 TEL(03)3403-1972(直)

講師 一般社団法人 価値創造機構 理事長 **村井 直志 氏**
公認会計士

対象 ◆上場企業・株式公開を目指す会社の監査役・内部監査担当者
◆上場企業・株式公開を目指す会社のCFO・経理担当者
◆決算書作成に必要な『会計上の見積り』等にかかる会計・監査上の知識を概括的整理したい方



主催 **一般社団法人 日本経営協会**

開催にあたって

決算書に計上される“数字”の一部は正確に測定できず、見積りによって計上するしかない項目＝『会計上の見積り』があります。この『会計上の見積り』は企業／経営者の主観的判断が影響することで、根拠不足・判断誤りによる財務諸表の重要な虚偽表示リスクにつながることもあります。そのため、決算書を作成する上で特に留意が必要で、対外的な説明責任や監査対応においても重要な論点になっています。

本セミナーでは、『会計上の見積り』とは何か、どのような仕組みで見積もるのか、その基本的な考え方や向き合い方を解説します。また、近年問題となった『会計上の見積り』の事例も取り上げ、実務上の具体的なポイントや手法を習得していただけます。

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はFAXにてお申込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者(連絡担当者)までお送りします。不着の場合は必ず電話にてご確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までをお願いします。

- 振り込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
- 教材は原則として当日会場にてお渡しします。
- 参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込の場合は、全額返金させていただきます。
- 録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください(特記の場合を除く)。

■早割・複製について【最大4,320円割引】

本案内状の申込書をご利用のうえ、お申込みをいただきますと、下記の特典(割引)が受けられます。申込書にはお申込み日をご記入のうえ、ご利用される特典に○印をお付けください。ただし同時に申込みの場合に限ります。

- 早割(早期申込割引)
開催日が申込日より2カ月以上先の講座について参加料を1名あたり2,160円(税込)割引させていただきます。
- 複製(複数申込割引)
複数名のお申込みで、参加料を1名あたり2,160円(税込)割引いたします。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索/ご入会のご案内」をご参照ください。

■参加料(テキスト・資料代金)

	参加料	消費税	合計
NOMA会員(1名)	25,000円	2,000円	27,000円
一般(1名)	32,000円	2,560円	34,560円

■キャンセルについて

開催日の3営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■WEBお申込みの流れ

- 1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <http://www.noma.or.jp>
- 2 「セミナー/講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック。
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます。

■お申込み・お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ ●担当: 緒方 千151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL(03)3403-1972(直) FAX(03)3403-8417
URL <http://www.noma.or.jp>

キ リ ト リ セ ン

NOMA 一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ 宛
FAX (03) 3403-8417

2019年 月 日 事務局 使用欄 No.

参加申込書		事例に学ぶ! 「会計上の見積り」 監査の実践		13196	2019.7/31 13:00開講 NOMA
企業(団体)名	フリガナ	TEL	<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 一 般 (該当にレ印をつけてください)		
所在地	〒	FAX	業 種		
参加者氏名		所属・役職	早・複製	メールアドレス	
フリガナ			早・複	e-mail:	
フリガナ			早・複	e-mail:	
派遣責任者	フリガナ	所属・役職	メール アドレス	e-mail:	
参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。 ①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 ※なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—□不要 ※今後eメールによるご案内も予定しています。ご希望の方は、ご記入ください。					

重要な虚偽表示のリスクや不正リスクへの対応!

プログラム内容

1. 『会計上の見積り』とは何か?

- 『会計上の見積り』の不確実性
- 『会計上の見積り』と虚偽表示リスク
- 『会計上の見積り』への向き合い方

2. 問題となった『会計基準等の論点』

- 滞留債権（貸倒引当金・売掛金の年齢リストの作成）
- 滞留在庫（評価・収益性の低下に基づく簿価切り下げ額・実地棚卸と外部預け在庫）
- 固定資産の減損会計（グルーピング・減損の兆候・現存損失の認識）
- 関係会社株式・非上場株式等（実質価額・回復可能性・投資損失引当金）
- 繰延税金資産（会社分類・回収可能性）
- 退職給付引当金（基礎率等・自社計算や簡便法による計算資料・年金数理人による計算基礎情報の検討）
- デリバティブ取引（金利スワップの特例処理）
- 資産除去債務
- のれん

ほか

3. 問題となった『経営者の判断』

- 継続企業の前提
- グループ監査（範囲・連結特有の処理・構成単位の監査人）
- 関連当事者（関連当事者との関係・取引・内部統制・重要な取引の識別・開示）
- 後発事象（訴訟事件等のリスク管理体制・弁護士への確認）
- 経営者の利用する専門家の業務
- I Tにより作成された情報（正確性と網羅性）
- 注記（財務制限条項・債務保証の注記・金額的に重要性のある訴訟事件の注記・賃貸不動産の時価等の開示）

ほか

4. 『会計上の見積り』監査の処方箋

5. まとめ・質疑応答

※村井直志先生著「会計チャージ決算書の本質を4つの目線でつかむ」(中央経済社)を差しあげます。また当日教材としても使用いたします。

※出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせください。

講師プロフィール

【講師略歴】

大手監査法人・コンサルファーム・税務事務所などを経て、一般社団法人価値創造機構理事長就任。日本公認会計士協会東京会コンピュータ委員会委員長、経営委員会委員、税務第一委員会委員、業務委員会委員、独立行政法人中小企業基盤整備機構 I T推進アドバイザーなどを歴任。第34回日本公認会計士協会研究大会に「CAATで不正会計に対処する、EXCELを用いた異常点監査技法」で選抜。

【主な著作・論文】

- 「経理に配属されたら読む本」（日本実業出版社）
- 「経営を強くする会計7つのルール」（ダイヤモンド社）
- 「CAATで粉飾・横領はこう見抜く」（中央経済社）
- 「強い会社の儲けの公式」（ダイヤモンド社）
- 「会計ドレッシング10episodes」（東洋経済新報社）
- 「会社四季報から始める企業分析 最強の会計力」（東洋経済新報社）

一般社団法人 価値創造機構 理事長 村井 直志(むらい ただし)氏
公認会計士